	ㅁㅛ ょ	7 BB						. ,,,,	•			117%	
事務事業	□サービス音		事務局運営事業										
No./名 称	■支 援 部	門		2 (227 d Pain Int. 2 PT									
主管課	教育総務課		関連課	関連課教育総務部及び生涯学習課全課									
分野名	学校教育												
目標													
(目標値)	透明性のある教育委員会の運営と効率的な人材活用												
人口等の	データ区分	2	22年度	21年度				20年度			備考	i	
データ	人口	17	77,161人	17	176,669人			176,484人			・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	78	,812世帯	78,	78,131世帯			77,430世帯					
	事業の対象者数												
運営資源	決算値(千円)	95	,832千円	89,144千円			91,301千円			*小中学校職員給与費を			
状 況	(国・県)									含む			
	(負担金等)									·小学校職員給与費 (41人)346,924千円			
	(一般財源)		,832千円	89,144千円			91,301千円						
	人員配置数			3.5人(56.5人)			3.5人(73人)			·中学校職員給与費 (9人)95,688千円			
	人 件 費(千円)	30,826千円		33,045千円			32,797千円						
	協働の				* (537,699千円)								
	パートナー	100	2 CEO T III	100	100 T III			104000 7	П				
古公古 兴	総事業費(千円)	## 126,658千円 (569,270千円) 市民1人当 715円			122,189千円 (587,263千円)			124,098千円 (629,000千円)					
事務事業 運営経費	+0411/			692円			703円			┧ '			
理呂莊貝	甲氏 1 人ヨ りの経費(円)		715円 3,213円)		(3.324円)			(3,564円)					
	対象者1人	(0	0,213[])	(3	(3,324日)			(3,504円)			4		
	当りの経費(円)												
ベンチマーク	団体名												
(県内外自治体													
や民間団体と													
の比較値)													
指	指標		年度	21年度	22年度			23年度 2		年度	最終年	最終年度(25年度)	
退職者	下補充		目標値	0	0			0		0	_	0	
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		0	実績値	0	0								

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

1 7 7 1 1 1 1 1 1 1	7 子木の川 四、	→恒別事業の概	(女)(衣)									
評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。				②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法 的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。					
	③有効性	事業の成果が行場合影響がある	④公平性	受益機	 会が偏っ	ていない。	か。受益者	負担は公立	平・公正か。			
小事業名		H22決算値	評価	適切=〇、	要改善=△(評価の視点を参照)	⇒	方向性		€•拡大 B: 6縮小 E: 廢		∁∶改善・見直し
		95,832千円	①効率性	〇 ②妥当性	〇 ③有効性	E O ④公平性 C) ⇒	□A	∎В	□c	□D	□E
事務局運営事業		事業の概要	や臨時的 ・教育行	內任用職員 政諸課題(を配置し	、休職等に対た。 た。 也市町村との の庶務的業務	連携を	三図った		来さぬ。	よう非常	勤嘱託員
			①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒	□A	□В	□с	□D	□E
		事業の概要										
			①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒	□A	□В	□С	□D	□E
			①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒	□A	□В	□с	□D	□E
		事業の概要										
			①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒	□A	□В	□с	□D	□E
		事業の概要			·	·						
			①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒	□A	□В	□c	□D	□E
		事業の概要										

中事業の評価結果

事業診断(課長評価)										
H22年度の課題	正規職員と非常勤嘱託員との関係がうまくいかなかった点もあった。									
課題解決のための取組	懇談会等において、正規職員、非常勤嘱託員の双方から意見を聞き、融和を図った。									
未解決の課題	正規職員、非常勤職員の自覚を促す取組は今後とも必要である。									
今後の方針	正規職員としての立場を自覚させるために、研修等を実施していく。									
今後の方向性	A: 充実· 拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直 し	В	※ 口事業完了	課長名	教育総務課長 三留定男					

個別事業の概要							
小事業名		ザイムスコード		22年度予算	22年度決算値		価結果
			非常勤嘱託員報酬	85,872	85,207	■適切	□見直し余地あり
		121	臨時的任用職員賃金	6,007	3,862	■適切	□見直し余地あり
	¥	121	県都市教育長協議会等負担金	146		■適切	□見直し余地あり
	主な					_~_,	_,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
	個別						
事務局運営事業	別						
	事						
	業						
						□適切	□見直し余地あり
						~,	_,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
	主						
	主な						
	個別事						
	別事						
	業						
	*						
						口海垣	口目古一〇十二
						□適切	□見直し余地あり
	÷						
	上な						
	主な個別						
	別						
	事						
	業						
						_	
						□適切	□見直し余地あり
	主な個別事						
	個						
	別						
	業						
						□適切	□見直し余地あり
	主						
	主な個別事						
	別						
	事						
	業						
					<u></u>		
						□適切	□見直し余地あり
	主						
	主な個別						
	個						
	別恵						
	事業						
	*						